| 科目ナンバリング | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 宗教学Ⅰ<br>Science of Religion I | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 岩田　文昭 | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 哲学・思想(基礎) | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・前期 | 曜時限 | 月3 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

現代の日本人の多くは、「無宗教」を自認し、とかく「宗教」を特別なものとして敬遠しがちである。しかし、「宗教」は私たちの生活においても意外と身近な存在であること、また人間の存在の最も深い次元にそれが関わっていることに気づいてもらう。そして、「宗教」という観点からの現代理解、自己理解を深めることを目的とする。

**[到達目標]**

さまざまな宗教の歴史・現実を学ぶことにより、他者理解を深めることができるようになる。他者における宗教の位置づけを学ぶことにより、自己と宗教との関係について洞察を深めることができる。人文科学の方法論の一端を学ぶことができる。

**[授業計画と内容]**

『宗教学キーワード』掲載の用語の説明を通して、授業を展開する。
以下のトピックに関する授業を行うことを予定している。

1　宗教学とは何か
2　生と死の意味を問う
3　生命の循環と継承
4　救いと癒しの現場
5　差別・暴力・権力と宗教
6　政治と宗教の相克
7　現代社会における宗教
8　宗教に関する実践
9　宗教における言葉
10　宗教における世界像
11　宗教における本質と規範
12　市民宗教とナショナリズム
13　諸宗教の見取り図
14　新しい問いと宗教学
15　試験
16　フィードバック：フィードバック期間内に行う

**[履修要件]**

特になし

宗教学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

**宗教学Ⅰ(2)**

**[成績評価の方法・観点]**

**レポート試験**
**授業の内容の理解を問うとともに、授業で取りあげたテーマに関して、自ら調べて報告する内容を予定している。**

**[教科書]**

**島薗進他編『宗教学キーワード』（有斐閣）**ISBN:978-4641058835

**[参考書等]**

**（参考書）**
**島薗進『宗教学の名著30』（ちくま新書）**ISBN:978-4480064424
**岩田文昭『近代仏教と青年』（岩波書店）**ISBN:978-4-00-025988-0
**講義中に指示**

**[授業外学修（予習・復習）等]**

**予習としては、次回の授業の主題に関係するテキストの箇所を読む。**
**授業後には、授業で紹介をしたいくつかの文献を読み、授業で説明した主題の理解を深める。**

**[その他（オフィスアワー等）]**

**受身の態度で講義を聴くのではなく、問題意識をもって講義に出席していただきたい。授業に積極的に出ることを前提に課題を出す予定であるので、受講に関してはその点に注意をしておく。**